# 経営改善・事業再生支援の取り組みの個別事例

株式会社　滋賀銀行

「地域密着型金融推進計画」の中において推進する事業再生に向けた積極的取り組みについて、平成１８年度下期における当行の取り組みの具体例は、下記のとおりでございます。

**１．体制整備の状況**

平成１５年１０月、審査部内に企業経営支援室を設置して、現在７名（室長１名、審査役３名、コンサルティング担当３名）のチームにて早期の事業再生に向けて一歩踏み込んだ取り組みを図っております。具体的には、中小企業診断士の積極登用、公認会計士、弁護士、税理士、コンサル会社等の外部専門家との連携を強め、経営支援対象先 228 先に対して早期再生に向けた多面的なサポートを実施しております。

**２．経営支援の実績**

（**事例**）

| 項　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 支援先企業の概要 | 業種：一般機械器具卸売業<br>業暦：業暦 10 年以上<br>企業規模：資本金 1 億円以下ならびに従業員 100 人以下 |
| 当行の施策、役割 | ・ 利益の上がる事業に人・物・金を集中配分するため、関連会社の合併など、事業再編を指導。<br>・ 営業力強化のため、営業所の再配置等による営業推進体制の見直しを指導。<br>・ 永年の経理士を交代させ、外部のコンサルタントを導入することにより、経営者の意識改革を図る。<br>・ 事業再編で不要となった資産の売却による有利子負債の圧縮を指導。 |
| 経営支援後の当該企業の状況 | ・ 資産売却による有利子負債の圧縮、コストダウンによりキャッシュフローを確保し、収益体質を改善。債務超過状態を脱し、債務者区分は正常先にランクアップした。 |

以　上